

事業所名

ぼぼろハウス

支援プログラム

作成日

2024年

7月

13日

法人理念		<p>●こころ豊かな暮らしのために ご利用者が安全で、安心できる施設で、必要なサービスを受け、生き生きと暮らすことのできる環境づくりに努めます。</p> <p>●人権を尊重し、ニーズに応えられる施設を目指します ご利用者が個人として尊重され、常に利用者の立場に立った支援を基本とし、心豊かで温かい人間性を感じられる運営を行います。</p> <p>●「地域住民のつながりの場」を目指します 社会生活が施設内で完結しない、また、地域住民への福祉活動への参加の機会が確保できるように、交流の機会と場所の提供を積極的に行います。</p>					
支援方針		<p>ぼぼろハウスは美術プログラム・調理プログラムを軸に、スタッフや同世代・年下・年上世代の仲間と過ごすことで『道具の扱いに慣れていく』こと、『創造性を刺激する』こと、『楽しいことを見つける』こと、『役割を意識する』こと、などをできるだけ楽しみながら学んでいけるよう支援しております。社会生活に親和し、暮らしの不便を軽減し、日々を楽しむことをする。そうした成長を望んで日々支援を行います。</p>					
営業時間		9時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<p>ご家庭や他機関と連携し健康状態を把握し、本人もご家族も安心できる生活を作り出せるように支援を行います。そのなかで基本的な生活リズムの形成、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること、荷物を管理すること等の生活に必要なスキルの向上を目指します。 子どもの主体性を尊重し、適切に生活をマネジメントできるように、一緒に考え気持ちに寄り添いながら支援を行います。</p>					
	運動・感覚	<p>体を動かす機会を確保し、のびのびと過ごしてもらい、満足感を持ってもらいます。 創作活動や調理活動に参加してもらい、姿勢の保持、動作の習得、巧緻性の向上等基本的機能の向上を目指します。また、困難な動作がある場合にはそれに合わせた道具を用意することなど補助的手段を活用し、それらができるよう支援します。</p>					
	認知・行動	<p>一人一人の特性を理解し、スケジュールや活動内容をわかり易く伝え、安心して自信をもって過ごせるように環境を整えます。また、こだわりがみられるときは、状況を整理、把握して気持ちを理解するように努め、困難性の軽減、予防等の適切な対応の支援を行います。</p>					
	言語 コミュニケーション	<p>その子の状態に応じた、言葉、視覚的な方法（写真、サイン等）など、適切な手段を用いて意思疎通を図ることでコミュニケーション能力が向上することを目指します。また、子どもから積極的に関わりを持ちたくなるように、安心して楽しく関われる関係作りを目指します。</p>					
	人間関係 社会性	<p>安心できる環境のなかで色々な関わりを持ってもらいます。困った時にはスタッフに相談してくれるような関係性を築き、安心感を持ってもらい信頼感を育む支援を行います。また、異年齢や同世代との関わりの中だけではルールを意識したり、互助の気持ちを育んだり、社会性の促進や人間関係の構築が促されるように支援をします。</p>					
家族支援		<p>ご家族からの子育てに関する困りごと等の相談について適宜対応します。 定期的な面談の機会を設けます。</p>			移行支援		<p>小学部から高等部卒業までの一貫した支援を通じて、進学や卒業等ライフステージの切り替えがスムーズにできるようにします。</p>
地域支援・地域連携		<p>学校や関係機関と必要に応じて情報共有、連携を行います。支援内容の共有を図ることで安心感をもってもらい、ライフステージの切り替えもスムーズに移行できるようにします。</p>			職員の質の向上		<p>内部、外部研修を計画、実施します。それ以外にも適宜行います。</p>
主な行事等		<p>季節に応じたプログラム（ハロウィン、クリスマス会等）を行います。</p>					